自然観察会

CZVバードウォッチングチーム

観察日：2022/07/23（土）　はれ

梅雨も明けて、本格的な夏の暑さの中での観察となりました。この日は野鳥はほとんど姿を見せず、鳴き声さえも聞こえません。代わりにセミが元気に鳴いていました。

観察できた鳥

姿まで確認

ハシボソガラス、ムクドリ、ドバト、カルガモ、カワセミ

大池に行く途中の道では、獲物を食べているジョロウグモや、何かに食べられたカブトムシの死骸、ハグロトンボなどを見ました。木の幹やアジサイの茎には、土を被ったニイニイゼミの抜け殻がたくさんついていました。先月も観察したタイサンボクの花の時期は終わり、白い実がついていました。池のほとりでは、えさを探すムクドリの群れ、まったりと過ごすカルガモ、飛び去るカワセミもいました。

水色と黒の小さな虫も発見！中国からラミーという植物についてきたラミーカミキリという外来種でした。帰り際には、木の幹に擬態したニイニイゼミを見つけることもできました。

きょうのワンポイント

ラミーカミキリ

パンダのようなブチ模様が特徴のカミキリムシです。名前も独特ですが、ラミーというのは中国や東南アジアで繊維を取るために栽培される植物で、日本にはこのラミーの輸入とともにやってきたと考えられています。名前の通りラミーが食草、つまりえさとなりますが、日本ではラミーによく似た種類のカラムシという野草によくラミーカミキリがついているそうです。